



生きものの“つぶやき”：

「オジロ～ 晩メシどうする？」

エッセイ：

雪が舞う、真冬の石狩川河口。オジロワシが見たくて何時間も車内で待機していると、いつの間にか雪上にオジロワシ。そして隣にはカラス。猛禽類にちょっかいを出しがちなカラスですが、この時はなぜか、オジロワシの隣に大人しく待機。夕日に照らされ、並んで佇む2羽が、まるで晩御飯の相談をしているかのように見え、微笑ましく感じました。てっきりカラスはいつものように撮影の邪魔をすると思い込んでいたので、カラスにはちょっと申し訳ないです。先入観を持たないことが大事だと改めて思いました。(234字)

生きものの紹介：

ハシボソガラス：スズメ目カラス科カラス属。日本のほぼ全域に広く分布する留鳥。

オジロワシ：タカ目タカ科。絶滅危惧II類。翼を広げると2メートルを超える大型の猛禽類。

撮影場所・日時：

北海道石狩市 2025年1月1日

応募者の自己紹介：

1. 氏名：三田村宙軌
2. 高校・学年：福井県立武生高等学校・2年

審査員からのコメント：

仲良く並んでいるいい瞬間を捉えていて、つぶやきもマッチしています  
構図が素晴らしい。生き物のたくましい背中を捉えました。



生きものの“つぶやき”：

「見つかっていないはず...」

エッセイ：

「いや、君、派手すぎるよ。」

修学旅行で行ったシンガポール。ふと何かが目の前を横切った気がしたので見てみると、目の前に真っ赤な鳥がいました。慌ててカメラを向けましたが、この子は微動だにせずにじっとしていました。赤い花の中にいるから見つかるわけがないと思っているのでしょうか、はじめのうちは自信に満ちた顔に見えました。ですが、しばらくしても僕が目線をそらさないからでしょうか、ゆっくりと顔を背けたのでそこを撮影しました。(372字)

生きものの紹介：

キゴシタイヨウチョウ 主に東南アジアに分布し、花の蜜を主食としている鳥です。シンガポールの国鳥ともいわれ、多くの人に親しまれています。

撮影場所・日時：

シンガポール 2025年10月15日

応募者の自己紹介：

1. 氏名：三田村宙軌
2. 高校・学年：福井県立武生高等学校・2年

審査員からのコメント：

とても綺麗な写真です。構図も素晴らしいと思いました。

色合いが素敵な写真です。